



CanSat ^{ざる}「the 流」

大阪府立大学
小型宇宙機システム研究センター

一回生

平井 単宇

メンバー

- 一回生 平井 単宇 (回路・プログラム)
- 一回生 松田くん (構造)
- 一回生 横山 顕悟 (差し入れ)
- 一回生 高垣 壮志 (構造・雑用)
- 一回生 磯野 達志 (回路・音信不通)

CanSat「the流」とは?

- プログラムや電子回路、基盤づくりなど
全く未経験の1回生5人が自分たちの力で作り上げようとしたCanSatである。
- その場の空気に**流**されて作り始め、先輩達のCanSatを**流**用することにして、何度も企画が**流**れそうになりながらも何とか大会まで**流**れつきました。

目標

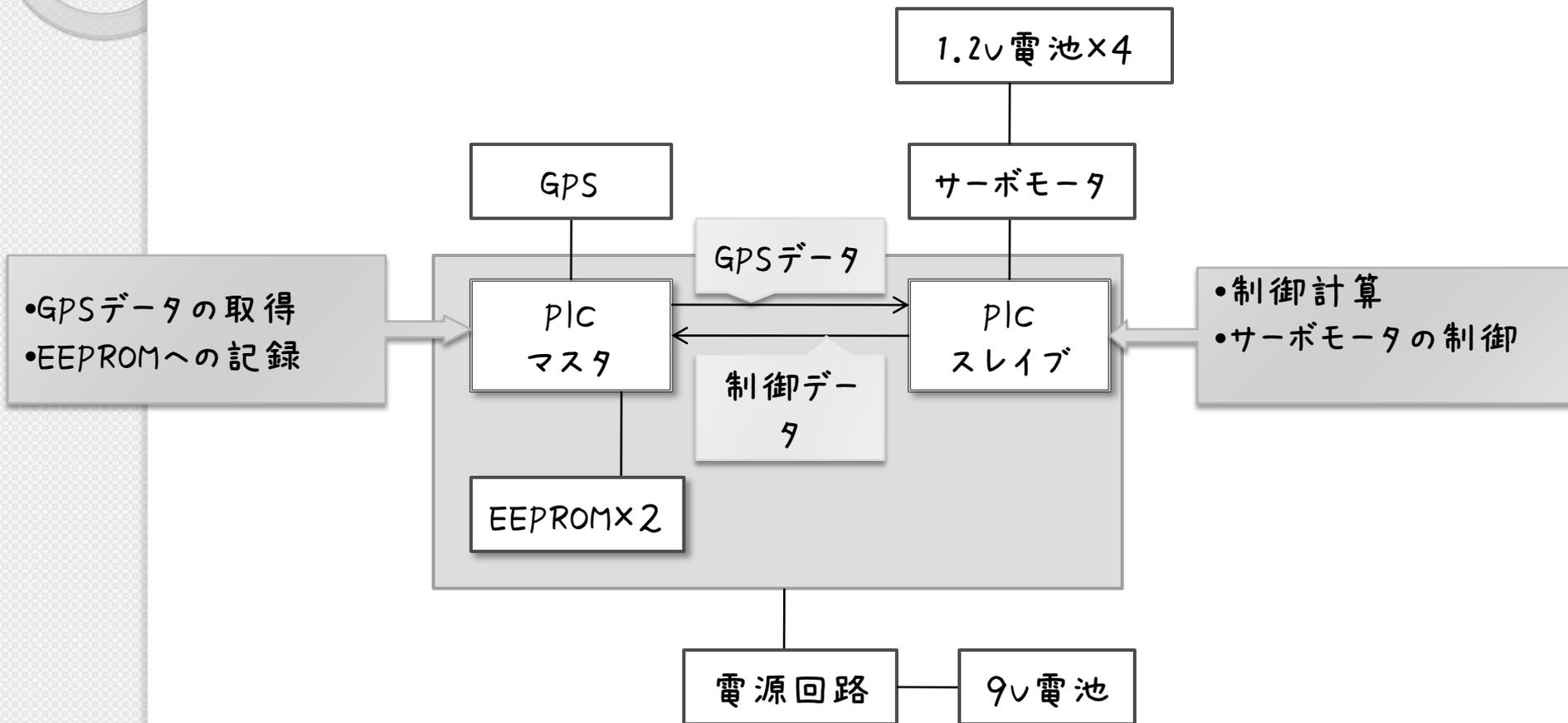
- CanSatの製作を通して、ものづくりのプロセスやプログラム・基盤づくりなどの技術を習得する。

構造

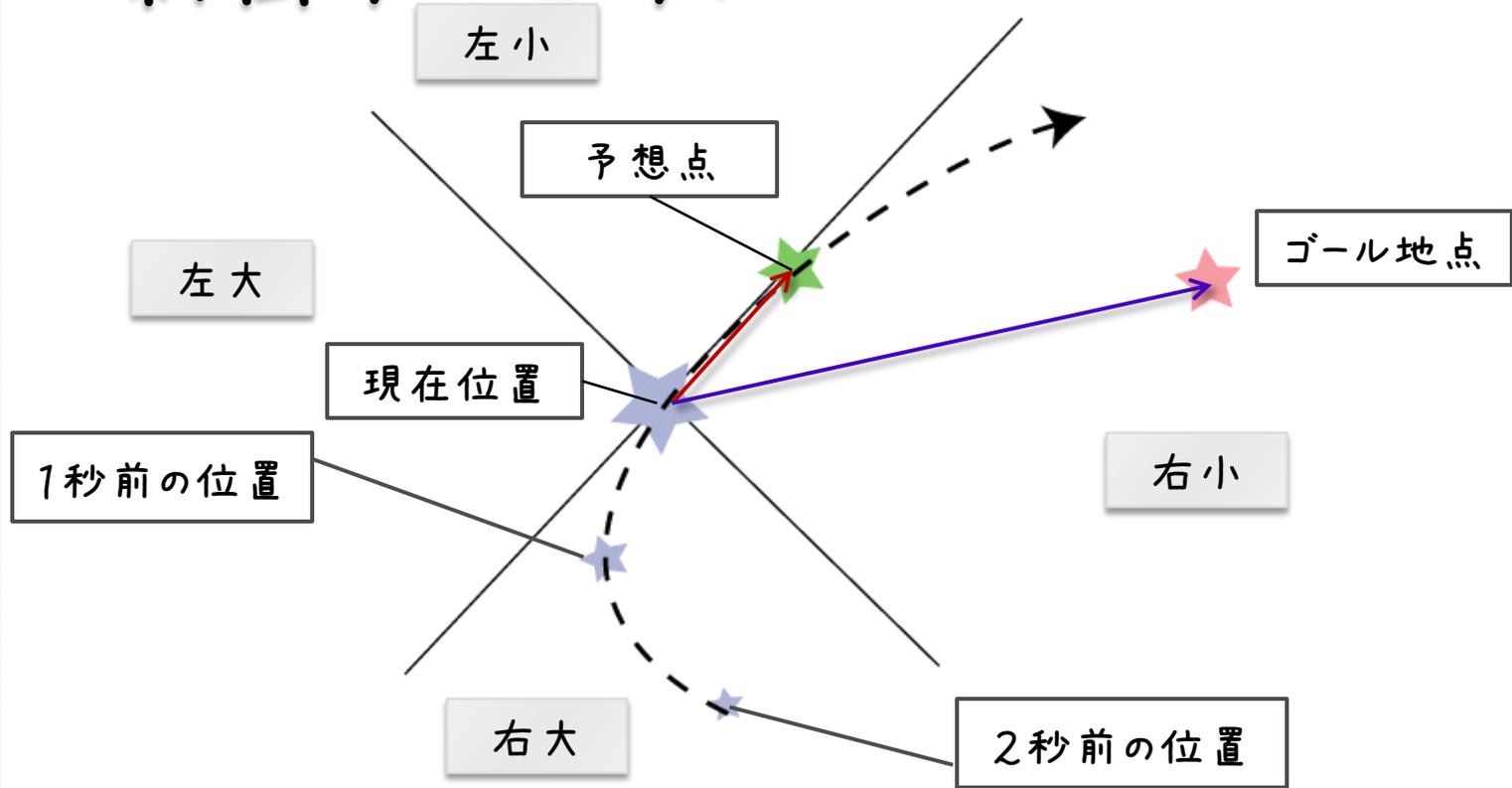
- 材料
 - ザル
 - 緩衝材のふちふち
- 利点
 - 加工が容易に短時間で
 - 出来る。



CanSat「流」のシステム



制御アルゴリズム



過去2点と現在位置
から2次曲線を想定

1秒後の位置を予測

現在位置からみた予想
点とゴール地点のなす角
で4通りに制御分け

今回の結果

- 1回目

- 基盤のショートにより飛行を断念。

- 2回目

- パラfoilが開かず墜落。
- マイコンがショートで死んで制御データの取得に失敗。

考えられる失敗の原因

- まさかのメンバー続々離脱。これにより人手が大幅に足らなかった。
- 基盤の絶縁処理ができていなくて、マイコンなどの電子部品が壊れた。
- そもそも、ザルがすべての原因だと思う。

今後

- 確実に動作するCanSatの製作。
 - 今回は手探り状態だったが、次回は・・・

- スケジュール管理を行う。

製作期間が短かったとはいえ、さすがに前日完成はまずい。



ご静聴ありがとうございました。